

エコプレス10月号

暮らしのCO₂ダイエットニュースレター 平成27年10月15日発行

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会

編集：関西大学良永ゼミ



お久しぶりです。関西大学良永ゼミ3回生です。

いつの間にやら夏が過ぎ去り、もうすっかり秋の風を感じる季節になりましたね。

季節が深まる中、11月より開催される各種プレゼン大会に向けて一丸となって

私たち良永ゼミ生の研究も深まりを見せ始めています。

今回は、そんな私たちが研究を進める過程で得た知識・情報を簡単に掲載しました。

最後までどうぞお付き合いください。

CONTENTS

- 表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 東京スーパーエコタウンへ行ってきました！・・・2
- サントリー(株)の工場見学へ行ってきました！・・・3,4
- 淀川清掃ボランティアに行ってきました！・・・5
- 生ごみリサイクルについて・・・・・・・・・・・・6
- 福岡県大木町に行ってきました！・・・・・・・・・・7
- イベント案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8



東京スーパーエコタウンへ行ってきました！

東京といえば、多くの産業が集まっている都市。企業やレストランなどの商業施設から出る産業廃棄物は、家庭から出る廃棄物よりも多いのが事実です。そんな都市特有の廃棄物問題と向き合い、循環型社会への変革を目指しているのが東京スーパーエコタウン事業です。近隣の企業同士が協力し、廃棄物の適正処理、リサイクルを行っています。エコタウン事業に取り組む企業の中でも、今回ツアーで見学した3つの企業を紹介させていただきます。

成友興業（株）



大規模公共工事から、小規模改修工事まで、様々な工事の一貫施工を行っている。またコンクリートガラ、汚泥、汚染土壌を適正に処理し、全てリサイクルすることを推進し、事業を行っている。地域活性化と共に、地球環境を意識した取り組みをされていました。

参考 URL: [公共財団法人東京都環境公社「環境関連施設見学のご案内」](http://www.tokyokankyo.jp/kengaku/ecotown.html)
(<http://www.tokyokankyo.jp/kengaku/ecotown.html>)

場所：江東区青海三丁目

※地図は、東京スーパーエコタウン無料見学会のPDF資料を参考に作成しています。
(http://www.tokyokankyo.jp/kengaku/doc/eco_leaflet27.pdf)

中央防波堤内側埋立地

大田区城南島

PCB 廃棄物処理施設

国民が安心して暮らせる環境を保全することを目的として、国の監督のもと毒性の強い廃棄物、PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の処理を行っている。下の写真(図2)は、作業員の安全を重視した装備服。危険物質を扱っているということもあり、緊張感に包まれた作業現場でした。

バイオエナジー（株）

日本で初めて、生ごみの「電気」と「都市ガス」へのリサイクルを成功させた施設。メタン発酵に最適な食品廃棄物を原料とし、この原料を発酵槽でおよそ30日間かけてメタン発酵を行う。生ゴミは普段、可燃ゴミとして廃棄するイメージでしたが、適正に処理することで、電気にもガスにも変えることができることが分かりました。分別方法の見直しが求められる時代なのだと実感しました。(図1)



図1

図2



サントリー山崎工場 見学

「おいしいお酒は、おいしい水から」

私たち良永ゼミ水班は、今年の夏、水についてフィールドワークを実施するために、京都府にあるサントリー山崎工場さんにアポイントを取り、工場見学をさせていただきました。サントリー山崎工場さんは、昔から地元山崎の名水を使って、おいしいウイスキーを作っており、世界的にも品質の非常に高い製品を製造しておられました。私たちは、水を取り扱う企業であるサントリーさんがどのくらい環境負荷低減について考えておられるのか知るために、いくつかの質問をさせていただきました。

サントリー職員 増村さんに聞きました！！

Q、ウイスキーの製造工程で、どの段階で一番水を使っているのですか？

A、仕込み、蒸留段階に多くの水を利用しています。

Q、美味しいウイスキーを作るのに名水は必要不可欠ですか？

A、名水によってウイスキーのおいしさが決まるといいほど、名水は必要不可欠です。

Q、工場内で、節水をしていますか？

A、水を取り扱う企業として水を無駄にしないという気持ちはあるが、節水という考え方をもって、ウイスキーの製造やその他の商品を作っています。



1、2、3 トリー！！

<最後に・・・>

今回サントリー山崎工場さんの見学に行かせていただき、飲料水メーカーの裏側や人気の秘密について多くのことを教えていただきました。本当にありがとうございます。私たち、良永ゼミ水班は、これからも「企業の水・個人の水」と、いろいろな水について調べていきたいと思います。

サントリー奥大山 ブナの森工場

『おいしい水は、豊かな自然から』

私たち、良永ゼミ水班は、8月27日に鳥取県のサントリー奥大山ブナの森工場に見学に行ってきました。そこは、水を育む森や環境を大切にしていける自然共生型の工場であり、飲料水の『サントリー天然水』が作られている所です。私たちは、ブナの森工場の技術長である山本さんにお話を伺い、サントリー奥大山ブナの森工場で行っている『水』に関する環境活動についていくつか質問をし、その質問に答えていただきました！

Q、節水はどのようにされていますか？

A、設備で稼働させる水を最適にするため、少しでも水を少なくするように心掛けています。また、水を段階的に使用し、一回グレードの低くなった水を使ったりしています。

Q、節水で一番大切にしていることは何ですか？

A、リユースです。水をなるべくグレードごとに分けて使っています。段階的に使いわけることにより、無駄に水を使用せず節水を行い、環境負荷低減に努めています。

Q、ブナの森工場では『水』を守ることに對してどのような活動を行っていますか？

A、節水に努めています。節水することによって、コスト削減に努めたり、天然水放流を行ったりしています。また、『水育』を行い、水の大切さについて子供たちに出張授業を行い、教えたりしています。

Q、洗浄する水の量は減っていますか？

A、例えば、予洗からすすぎをするという場合には、すすぎに使った水を貯めて、予洗に使うなど、使用量削減に努めています。また、使用量削減を行って、省エネにも貢献するように努めています。

水に関する質問に沢山答えていただいて、節水状況やサントリーブナの森工場で行っている環境保全など様々なことを教えて頂きました。また、私たち自身も身近で出来る節水について改めて考える良い機会となりました。山本さん、ご協力ありがとうございました！



水を扱う企業とあって、あらゆる取組がなされていました。

淀川花火大会の清掃ボランティアに行ってきました！

8月8日にあった淀川花火大会。

淀川花火大会の清掃ボランティアに行ってきました！このボランティアは花火大会終了直後の当日ボランティアと翌日ボランティアがあり、私は翌日ボランティアに早朝から参加してきました！

前日から清掃を行っていたためか、翌日に拾うごみの量は少なく感じました。しかし、いくら少ないと言っても、お弁当などを留めるゴムなど細かいものがごみとして多いように感じ、ひとりひとりの環境に対する意識づくりが重要だと感じました。

花火が上がるのは当日のみですが、清掃活動は翌日・翌々日も早朝から行われています。参加されていた方の中には、花火を見た帰りに散乱しているごみが気になり毎年参加されているかたもおられました。

花火の打ちあがらない大会2日目、3日目があるからこそ、ボランティアの方々の支えがあるからこそ毎年開催できているのだと思いました。



当日集まったごみの一部



清掃活動の様子



参加された方々

生ごみリサイクル始めてみませんか！？

ごみの分別と聞いて、何を考えますか？

多くの方が、資源ごみ・可燃ごみ・不燃ごみの 3 分別を頭に浮かべることでしょ

う。その中でも可燃ごみと聞いて連想するものはなんでしょう

か？多くの方が、紙ごみや生ごみは可燃ごみであると連想するのではないで

しょうか。しかし、生ごみが実は資源のかたまりであったとしたら……

大切な資源を燃やしてしまっているとしたら……

あなたは、どうしますか？



生ごみを生ごみとして、分別回収する自治体が存在していることをご存知でしょうか？

生ごみだけで回収された後は、飼料化や堆肥化され酪農や農業に利用したり、バイオガス化して発電し、得た電力を売ることでお金を得ることだってできるんです！！

バイオガス化とは、微生物の力を使い、生ごみを無酸素状態で発酵させることでメタンガス発生させるものです。このメタンガスは電気や熱に変えることもでき、次世代を担う新しいエネルギーシステムの一つとしても期待されているのです。

ごみを減量できるだけでなく、エネルギーとしても利用できるようになるのです！！

混ぜればごみ

分ければ資源

まずは、自分の出来る小さなことから

始めてみませんか？

「おおき循環センターくるるん」に行ってきました！



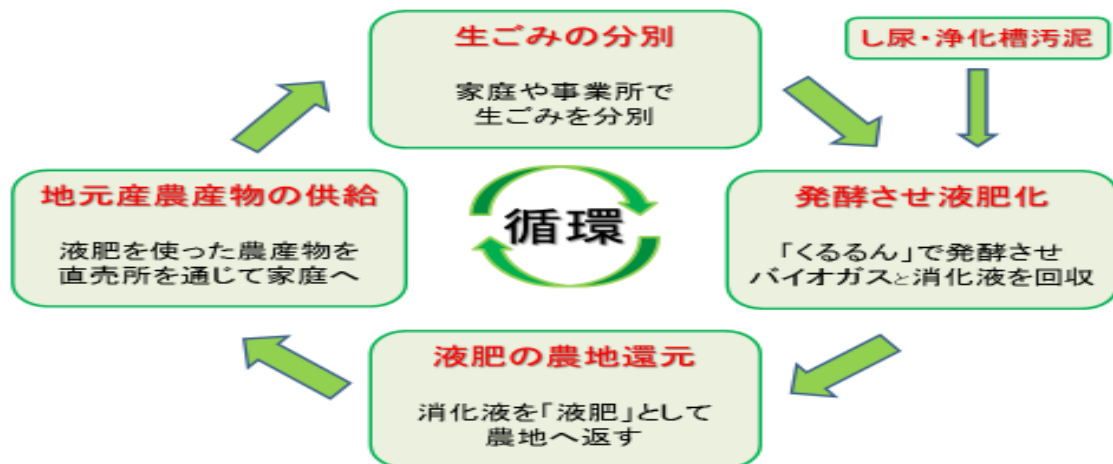
？どんな施設？

生ごみ、し尿、浄化槽汚泥をメタン発酵させてバイオガスを抽出し、エネルギーとして利用し、同時に、発酵後に発生する消化液を有機肥料として農業利用する循環型の施設です！

▼大木町の循環システム

おおき循環センターくるるんの最大の特徴とも言えるのが、他のバイオガス化施設では捨てられてしまう消化液をそのまま液体の肥料「くるっぴ」として活用していることです。

大木町の住民は、無料でくるっぴを利用することができ、また格安でが肥料散布をしてもらうこともできます。



▼見学に行った感想

施設見学を担当してくださった方が何度も仰っていたのが、「住民の皆さんの協力が不可欠である」ということでした。

大木町では生ごみをバケツで回収しているのですが、住民の皆さんが非常に協力的に分別されており、異物の混入がほとんどないそうです。また、通常では迷惑施設として位置づけられるごみ処理施設が町の中心部にあり、住民の方々からも大切にされているということにも驚かされました。

見学を通して、自分たちが日頃生ごみを可燃ごみとして捨ててしまっていることに、疑問を持つようになりました。

多くの人に、このように生ごみを資源として有効利用している町があるということを知ってほしいと思います。

＜大木循環センターくるるん HP : <http://kururun.jp/>>



イベント案内

暮らしのCO₂ダイエット参加者募集

家庭の電気やガスなどの使用量を毎月記入する環境家計簿に取り組み、省エネルギー・省資源を進めませんか？ ◆期間／7月～2月（途中参加も可） ◆申込／電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

謎を探してウォーキング参加者募集

JR岸辺駅から大阪学院大学までを歩き、史跡や神社、防災設備のある公園等を巡ります。ワークショップなども。 ◆日時／11月14日（土）午前9時から午後1時 ◆申込／電話かFAXにて10月30日（金）必着でアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

万博ごみゼロウォーク参加者募集

ごみを拾いながら万博公園外周を歩きます。お楽しみ抽選会も。 ◆日時／11月7日（土）午前9時から12時（雨天中止） ◆申込／電話でぐるぐるプラザ（6877-5300）へ。

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。

暮らしのCO₂ダイエットをはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

- ・個人会員：1,000円／年
- ・団体会員：5,000円／年
- ・賛助会員：1口1,000円／年
- ・準会員：無料

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



エコプレス 10月号

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
吹田市役所環境部環境政策室内
TEL06-6384-1782
FAX06-6368-9900

編集：関西大学 経済学部 良永ゼミ

- ・表紙・・・吉田
- ・東京スーパーエコタウンへ行ってきました！・・・矢野
- ・サントリー（株）の工場見学に行ってきました！・・・梶谷・山口・森・日和崎・吉田
- ・淀川清掃ボランティアに行ってきました！・・・白川
- ・生ごみリサイクルについて・・・川上
- ・福岡県大木町に行ってきました！・・・田中

暮らしのCO₂ダイエット協力団体・企業

大阪トヨペット株式会社吹田店

関西大学経済学部良永ゼミ

大阪学院大学

編集後記

☆普段、私たちが毎日出している生ごみから得たバイオガスが、都市ガスとして利用可能になったということ、また24時間受け入れ可能であるため、時間帯に捉われず、いつでも産業廃棄物からガスを生み出せることがわかりました。（矢野）

☆水に関する企業ということで、フィールドワークを兼ねて2か所のサントリーの工場を訪ねてきました。常に環境に関わっている企業のさまざまな取り組みを身近に感じることができて、とても研究の参考になりました。（梶谷・山口・森・日和崎・吉田）

☆夏の風物詩である花火。毎年50万人近い人が訪れるそうです。一人ひとりがごみを持ち帰るだけで、50万個もの数のごみを減らすことができます。やはり、個人個人の意識改革が必要なのではと感じました。（白川）

☆私たちがごみだと思っているものが実は資源だった。物の見方を少し変えるという少しの努力が、我々には必要なのではないでしょうか。（川上）

☆行政と地域が一体となって、可燃ごみを減らすという一つの目標に向かうとき、こんなにも大きな力になるのだなと驚きました。（田中）